



ご挨拶

一般財団法人蔵王酪農センター
理事長 小坂橋 正人

一般財団法人蔵王酪農センター理事長に就任いたしました小坂橋正人でございます。理事長就任にあたり、創設以来受け継がれてきた高い志を守り、そして未来へつなぐという思いを含めまして、ステークホルダーの皆様方に一言ご挨拶を申し上げます。

1960年に創設された一般財団法人蔵王酪農センターは、1964年に豊かな自然に囲まれた風光明媚の地である宮城県蔵王町へ移転して参りました。以来この地に根を下ろし、酪農事業や蔵王の名を冠したこだわりのチーズ作りを行うと共に、酪農経営やナチュラルチーズ製造技術研修等により多くの人材を育成し、日本の酪農乳業産業発展と地域の活性化に貢献し続けています。

日本酪農の父と言われている黒澤酉蔵翁は“機を知るは農の始めにして終わりなり”と記し、“機会を捉える”ためには“至誠”が大切と説いています。環境の変化を止めることはできませんが、変化の先頭に立つことは“変化の機”を掴むことにより可能であり、そのためには承継されてきた志を守り至誠を貫き、そして小さな仕事にもこだわりを持つ強い思いが大切です。私はこれらの凡事徹底が当センターの持続可能な経営を可能とし、これまで以上の社会貢献が果たせるものと考えています。

機会を活かして変化に積極的に応じる“活機応変”に当たっては、変えてはいけないものの堅守、変えるべきものの迅速な実行により、人と地域と酪農そして社会の課題解決に向け、役職員と共に自らの力で変えられる未来に高く目線を定め、当センターの事業を推進して参ります。

これからも皆様方のご指導ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。